

令和4年度 東伊豆町立熱川中学校 グランドデザイン

『小中連携の推進』

- ・熱川ビジョンの共有
- ・小中連絡会の開催
- ・校内研修の共有（道徳）

熱川 Vision
主体的に人とかがわり
夢を育む子

『社会に開かれた教育課程』

- ・熱川小中合同学校評議員会
(熱川地区学校運営協議会)
- ・地域学校協働活動の推進

豊かな心

【生徒】

- 「先見大笑」「あいさつレベル」を意識したあいさつ
- 相手の気持ちを考え思いやりの精神を持った言動
- 道徳的な判断力を身につけ正しい行動を考える
- 様々な人との関わりを通し良好な人間関係を築く
- 場に応じた判断力・対応力、道徳的判断力

【保護者】

- それぞれの個性を尊重し互いに認め合える関係
- 向上心、自主性を持って様々な事にチャレンジ
- 我慢できる強い心、自分の気持ちを伝える心
- 学年を超えた積極的なコミュニケーション
- 周囲を考え思いやり優しさのある行動
- 自分が愛されていると感じられる心
- 誠実、感謝、助け合いの精神

【教職員】

- 他人の反応を気にせず自分を出す
- 楽しいときに全力で楽しめる心
- 厳しさや困難にどう対処するか
- 様々な事を自分ごととして捉え協力できる心・雰囲気
- 与えられた環境・条件の中で、どれだけ個人で仲間と楽しむことが出来るか

健やかな体

【生徒】

- 早寝早起き、適度な睡眠時間、バランスの良い食事
- 日々の部活動や体育の授業に真剣に取り組む
- 好き嫌いをなくし、給食を完食できる
- 生活習慣を見直し、自分の体力を把握する
- 手洗い・うがいを励行し、免疫力を高める

【保護者】

- 体力、運動面・健康面の土台となる食育の充実
- 自分の体の特徴を知り心と体のバランスをとる
- よく食べ、よく学び、よく寝る習慣の徹底
- 運動面での記録(伸び率)の見える化
- 体を動かす楽しさ、食べる楽しさの明示
- 部活動における目標の明確化
- 徒歩通学の強化で体力アップ

【教職員】

- 食に対する意識を前面に出す
- 基本的な生活習慣の調整力
- 給食を残さず食べる、朝食を欠かさず食べる、体を動かす
- 部活や体育だけでは補いきれない持久力の強化
- 睡眠時間の確保
- 適切なICT機器の使用法

中
学校教育目標
夢に向かって
ともに高め合う生徒
重点目標
Challenge the Chance to Change

トライアングルの音が響く学校

【生徒】

- 授業に集中し意欲的に取り組み、分からないことをそのままにしない
- 自分の意見・考えを周りにしっかり伝える
- 基礎学力をつけ将来の進路・夢の決定
- 復習を中心に家庭学習の充実を努める
- 1日1ページの自学ノートを充実させる
- 読書量・時間を増加させ読解力の向上
- 様々な場面で自分で考え臨機応変に対応できる力を身につける

確かな学力

【教職員】

- 答が一つでない問題にも対応できる力
- 知識・技術を組み合わせ選ぶ力
- 基礎基本の定着とそれを活用する力
- 主体的に学び、判断し、行動できる力
- 読書を通して読む力・語彙力を身につける
- 今より広い視野で物事を見て表現する力
- 「なぜ」「どうして」の視点で考え活用することが出来る力

【保護者】

- 「なぜだろう」「知りたい」という意識・意欲
- 興味をもち、調べたり考えたりする力
- 家庭学習を自分で考え進められる力
- 自ら学び判断し課題解決できる力
- 基礎基本の定着と反復練習できる力
- ディスカッションやディベート等において、自分の意見を積極的に発信できる力
- 1年時から将来の進路のことを考えて学習を進められる力

- ①生徒が授業を通して「何を」「どのように」学ぶかを発見できる（教科指導）
- ②生徒が様々な挑戦を通して自らの可能性に気づく。（教科外指導）
- ③教職員が変化・改善・改革を意識し「協働型組織力」を向上させる。（学校運営）

【確かな学力】

- ①家庭学習習慣の徹底 『1Pノート・学習ファンブック』の取組の充実。『学習の手引き』の有効活用。『個に応じたノート指導』の実施。
- ②場に応じた自己表現能力の向上 『答が1つでない課題提示』『対話活動』の場面設定。『発表チャンピオン』の実施。
- ③読書に親しむ態度 『休日の読書の奨励』『読み聞かせの実施』
- ④小中連携の強化 小中共通の学習スローガンを「伝え合い、認め合い、考えを深めよう」と設定
- ⑤ICT機器の効率的な活用 『授業・行事等における積極的な活用』

【豊かな心】

- ①基本的な生活習慣の徹底 『時と場に応じた言葉遣い・忘れ物をなくす・あいさつの励行』『先見大笑・あいさつレベル』の充実
- ②思いやりの心・自己有用感の育成 『道徳教育（全校道徳・一斉道徳）の充実、いじめを許さない学校創り（アンケートの実施）』
- ③やり抜く心の育成 『達成感や成就感を味わわせる場の設定』
- ④自主性・積極性の育成 『縦割り活動の充実』

【健やかな体】

- ①基礎体力の向上と競争意識の育成 『走力、持久力、柔軟性の向上』『部活動の活性化』
- ②食育の推進 『給食残食量の減少』『自分で作るお弁当』の推進
- ③健康・安全意識の向上 『健康の保持増進と自分の命は自分で守る意識の向上』『命の大切さ』を実感させる体験

【教職員としての資質向上】

- ①『意見は異見』の精神を生かした協働型組織力の向上
- ②『学校の危機管理における資質・意識の向上』
- ③『学校・学級便り』を活用した積極的な情報発信
- ④『教材型思考で価値付けするための《見る観る視る》観察力の向上』
- ⑤『特別支援教育に対する意識の向上』

学校評価における重点達成目標

学校生活の中で学校教育目標を意識して、様々な活動に取り組むことができた(100%)

様々な場面で自分の意見や考えを積極的に伝えることができた (100%)

自分の健康管理や安全に配慮した生活を送れた (100%)

いじめを「しない・させない・許さない」という気持ちを持って友達と関わった (100%)